

令和4年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	広島大学	主な交流先	英国・インド・オーストラリア
事 業 名	国際協働学習を通じて醸成するアジャイル・アントレプレナーシップ		
海 外 の 相 手 校	シェフィールド大学、ピルラ技術科学大学ピラニ校、インド経営大学院バンガロール校、ニューサウスウェールズ大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、先行きが不透明で将来の予測が困難な VUCA(Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性)時代に、多様性を踏まえた柔軟な解決策を提案し、困難を打開しながら実行を先導するリーダーの育成のため広島大学が目指す「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」に必要な資質として今までの4つの資質に加え、「アジャイル・アントレプレナーシップ」を追加するものである。その育成のため、多様な学生に国際協働学習環境を提供すべく、英国、インド、オーストラリアの4大学と協力し、①COIL型協働学習(e-START)、②学生提案型ワークショップ(AGILEワークショップ)、③セメスター留学(HUSA)、④インターンシップ(グローバルインターンシップ)によりステップ型に学びと実践、実渡航とオンラインを組み合わせて基礎から応用へと連結するアジャイル型教育を特徴としている。その展開に当たっては、過去の博士課程教育リーディングプログラム、大学の世界展開力強化事業(ロシア、インド)により構築してきたアジャイル型教育プログラムや大学の世界展開力強化事業(アジア諸国)でドイツのミュンスター大学から導入した「アイディアズ・マイニングワークショップ」、2021年度に設置した産官学連携プラットフォーム「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」の組込や連携がされており、また、アジャイル・アントレプレナーシップに必要な6つのコア・コンピテンシーとその成果水準を明確にし、参加学生によるBEVIテストの評価により自身の学習・成長・変化のプロセスや成果を理解して達成水準を確認することは高く評価できる。さらに、学生主体のプログラムとして、留学説明会・交流会・Oshaberi-Room(留学アドバイザーが企画・運営)、日印交流プログラムオンライン学生ワークショップ等の開催実績をもとに、新たに広島大学型・アイディアズ・マイニングワークショップの提供やワークショップ参加者の学習報告会の実施が計画されて学生支援として期待ができる。

一方で、プログラムの面では、現在各大学プログラムに任されているインターンシップについて、インターンシップの効果的な実現のために連携大学や関係企業と実施期間や必要項目等の標準化の検討・協議が望まれる。また、アジャイルをどのように育成するのか、教育プログラムとの結びつきが分かりづらい面もあるので、さらに明確にしていくことが望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。また、本事業は、補助期間終了後は自立的に事業を継続することが前提とされていることから、継続的かつ発展的に質保証を伴った事業を展開されたい。